

<別紙> 情報提供様式

①事例名	
年間行事計画ならびに定期テスト等の教育課程の見直し 教員業務支援員の効果的な活用	
②学校名	
米原市立柏原中学校	
連絡先 0749-57-0030	
③取組分野(複数選択可)	
<input checked="" type="checkbox"/> 教員業務支援員(スクール・サポート・スタッフ)の効果的な活用事例 <input checked="" type="checkbox"/> 教育課程等(授業時数の点検、日課表の見直し、カリキュラム、教科担任制、行事の精選等)に関する取組 <input checked="" type="checkbox"/> ICT活用(自動採点、成績処理、Webによるアンケート、ファイルサーバの共有、連絡ツール等)に関する取組 <input checked="" type="checkbox"/> 部活動(外部人材、地域連携・地域展開、実施日・終了時刻変更等)に関する取組	
④直面していた課題(取組前の様子)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に令和5年度までは、特定の教職員が夜の9時を回っても帰宅できないという状況が続いていた</li> <li>・部活動を毎日指導している教員ほど、18時頃からしか事務的な仕事に取り掛かれないという状況があった。</li> </ul>	
⑤在校等時間の縮減に向けた具体的な取組内容	⑥参考となる写真や資料を添付
<p>① 教育課程の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間の行事計画等をすべて見直し、定期テストを廃止したうえで、単元テスト並びに実力テストを実施した。</li> <li>・企画会議を廃止し、職員会議のみとした。</li> </ul> <p>② 完全下校時刻の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・春季～夏季にかけての部活動の活動時間を短縮し、完全下校時刻を大幅に繰り上げた。</li> <li>・可能な部活は地域人材を部活動指導員として活用した。</li> </ul> <p>③ 教員業務支援員の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業や生徒会で使用する、枚数の多いプリント類の印刷、枚数の確認等を教員業務支援員に依頼した。</li> </ul> <p>④ 家庭訪問の希望制への見直し</p> <p><u>取組のポイント</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テストの廃止により、テスト作成の負担を軽減した。また、授業時数が確保しやすくなることから、計画的な授業時数削減が可能となり、1086時間未満にできた。</li> <li>・R5まで最大17:55であった完全下校を、R6より最大で17:10とした。</li> <li>・必ず教員がやらなくてはいけない仕事を洗い出し、それ以外の仕事を教員業務支援員に依頼するようにした。</li> </ul>	<p>写真は、大会や練習における部活動指導員の活用事例</p>   
⑦取組の成果	
<p><u>成果のポイント</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に本校は小規模校であるために、ほとんどの教員が定期テストを3学年分作成していたため、定期テストの廃止は学期末の時期の空き時間の確保につながり、大きな負担削減につながった。</li> <li>・完全下校時刻が17:55であった頃には18時頃から事務仕事に取り掛かっていた教員が、より早く仕事を始められるようになり、帰宅が早くなった。</li> <li>・教員業務支援員に業務を依頼する過程で、本来する必要がなかった無駄な業務を見つけ出し、仕事内容を精選することにつながった。</li> <li>・教員業務支援員に業務を依頼することで、小さなお子さんがいるなど家庭の事情で早く帰らなくてはならない教員の負担軽減につながった。</li> </ul>	